

図書館だより

小さな図書館から

大社町図書館協議会会長 福島裕子

長い間図書室しか持っていなかったわが町に、来年は新築の文化会館に隣接して図書館も竣工するというので、町民は今からワクワクしてその日を待っている。

しかし、大きな期待と共に文字通りの老婆心からか、やがてできる図書館の建物のことよりも、その蔵書や内容の整備が気がかりでならない。なぜならば、財政規模の小さな町に、書物を購入する力がどれだけあるのか？との懸念からである。これはわが町のみならず、他の町村も大同小異であろう。

と、私の頭をよぎったのは、県立図書館の存在である。数年前、素人演劇の脚本を頼まれ、「玄丹お加代」を書こうと思った。そして、資料を求めて訪れた県立図書館に、村松駿吉という作者の古い新聞小説が、1回目から180回目の終りまですべて整理されており、私は驚喜してその恩恵にあづかった。また、資料ではないが、私共が毎月行っている成人読書会には、県立図書館から集団読書用の本を、その都度15冊ずつ借り、

その恩恵も大きい。

このように県立図書館の存在はありがたくも心強いが、では、町村立の小さな図書館は、いったい何をなすべきであろうか？

先ず、資料収集の上では、それぞれの町村が、地元の特性に見合ったテーマを決めて資料を収集し、○○のことなら○○町の図書館へという風に、お互いの情報交換を密にして利用し合うようすれば、小さな図書館も案ずることはなかろう。例えば、歌舞伎の始祖「出雲阿国」の生誕地であるわが町の場合は、歌舞伎や阿国にまつわる資料を徹底的に収集せねばなるまい。

次に、何よりも大切なのは、町村の文化活動の拠点、生涯学習の場としての図書館が、老いも若きも、殊に次代を担う子ども達が、楽しんで集う場となるよう、蔵書の選定・雰囲気づくりについて、今まで以上にくふうせねばならないことであろう。これらはすべて地域ぐるみで取り組むべき問題である。

こども室紹介

①こども室には、約13,000冊の本が開架されています。絵本、文学を中心とした子どものための資料のほか、子どもの読書に関する資料や、作家論・作品論等の児童図書研究資料を収集しています。平成8年度には1,254冊の図書を受け入れました。また、雑誌も、子ども向け大人向け合わせて、約20タイトルをそろえています。

②こども室では、子どもはもちろん、学校、家庭からの読書相談に応じています。

《平成8年度レファレンス統計》

文献調査	事実調査	書誌調査	合 計
312	27	536	875

「調べ学習」の関連で、世界各国の地理・文化、環境問題、福祉についての問い合わせが多くあります。そのほか、昔話の出典やテーマ別絵本についての問い合わせもよく受けます。

③こども室では次のような行事を行っています。(いずれも集会室にて参加自由・無料)

親子で絵本を読む会

毎週水曜日 15:00~15:40

読書に親しむ子どもを育てるため、親子を対象に絵本の読み聞かせ、本の紹介等行っています。



子どもおたのしみ会

毎月第4土曜日 10:00~11:30

絵本の読み聞かせに、工作、手遊び、紙芝居等の健全なリクリエーションを交え、本から広がる喜びや楽しさを引き出します。

子どものつどい

毎年2回(8月:たなばた会 12月:クリスマス会)

読書の喜びを与え、県立図書館により親しんでもらうため、児童・小学校低学年を対象としたつどいを開催しています。

《全国図書館大会に参加して》

昨年10月29日(水)~31日(金)の3日間、山梨県において第83回全国図書館大会が開催されました。「行動する図書館」をテーマに、全国から約1,850名の図書館関係者が集い、研究討議が行われました。児童・青少年サービスの分科会では、子どもを取り巻く現在の図書館の現状や課題、読み聞かせやブックトークなどの細かいサービスの展開について話し合いました。そして、児童・青少年サービスに携わる職員の重要性、ブックトークの必要性を全体で確認しました。

なお、分科会とは別に、ボランティアとして活躍している方々が、日ごろの実践活動を紹介する「図書館ボランティアの夕べ」というイベントが開催されました。このような住民参加の催しは今までになかったことで画期的でした。また、図書館が発展していくためには、地域の人々との連携、協力が不可欠であるということを再確認する上で、意味のある大会でした。

市町村読書普及研修会を開催します

テー マ：「子どもを本の世界へいざなうために」～ブックトークのすすめ～

講 師：宇田祥子 氏

東部地区

と き：平成10年3月10日（火）午前10時～午後3時30分

と こ ろ：島根県職員会館

西部地区

と き：平成10年3月13日（金）午前10時～午後3時30分

と こ ろ：県立浜田教育センター

問合せ、申込みは県立図書館普及係まで

講演会のお知らせ

演 題：志賀直哉「濠端の住まい」を読む

講 師：寺本喜徳 氏 島根県立女子短期大学教授

と き：平成10年2月17日（火）午後1時～3時

と こ ろ：島根県立図書館 集会室

参加費無料です



図書館職員研修会が開催されました

平成9年11月18日、読書案内（利用者が求めている資料や事柄にたどりつけるように図書館員が案内すること）をテーマに研修会を開催しました。岡山市立図書館奉仕課長、田井郁久雄氏の講演、出雲市立図書館副主任司書、高橋容子氏の事例発表など盛り沢山の内容で、参加者からは「やる気が出る講演だった」等の声が聞かれました。

島根県には59市町村のうち8市17町に図書館が設置されていますが、その整備は未だ十分とはいえません。このような状況下、よりよい利用者サービスをめざして、熱心な図書館職員（市町立、高校、県立）や町村教委職員が40人以上も参加されました。利用者と図書館資料をつなぐことが図書館司書の果たす役割であるとあらためて深く感じる研修会でした。

行事予定

2月



1 日	2 月曜休館日	3 火	4 親子で 絵本を読む会 15:00~15:40	5 木	6 金	7 古文書を土 読む会(近世) 14:00~16:00
8	9 休館日	10 成人 読書会 13:00~15:00	11 休館日 建国記念の日	12「万葉集」を 読む会 14:00~16:00	13 出雲國風土記と 読む会 13:00~15:00	14 子ども おたのしみ会 10:00~11:30
15	16 休館日	17	18 親子で 絵本を読む会 15:00~15:40	19	20	21 古文書を 読む会(中世) 13:30~15:00
22	23 休館日	24	25 親子で 絵本を読む会 15:00~15:40	26	27	28 月末休館日

◎館内展示……冬季オリンピックに関する資料展

3月

1 日	2 月曜休館日	3 火	4 親子で 絵本を読む会 15:00~15:40	5 木	6 金	7 古文書を土 読む会(近世) 14:00~16:00
8	9 休館日	10 成人 読書会 13:00~15:00	11 親子で 絵本を読む会 15:00~15:40	12「万葉集」を 読む会 14:00~16:00	13 出雲國風土記と 読む会 13:00~15:00	14 古文書を 読む会(中世) 13:30~15:00
15	16 休館日	17	18 親子で 絵本を読む会 15:00~15:40	19	20	21 休館日 春分の日
22	23 休館日	24	25 親子で 絵本を読む会 15:00~15:40	26	27	28 子ども おたのしみ会 10:00~11:30

◎館内展示……'97年度の受賞作品展

※各種講座は講師の方の都合により変更する場合もあります。

利用案内

●休館日

- 毎週月曜日・国民の祝日
- 毎月末日(月末が日曜日にあたるとときはその前日)
- 年末年始 12月28日~1月4日
- 図書整理休館(年2回、それぞれ10日間)

●開館時間 9時~18時

ただし、こども室は火曜日~土曜日は13時~18時
(第2、第4土曜日・日曜日および小・中学校の春・夏・冬休み期間中は
午前9時から開きます。)

●貸出し

冊数…5冊以内
期間…15日